

(其同) 民主、公明、
憲法改正手続を確
定させる国民投票法改
正案について合意した。懸
念で、今国会中の成立を
目指す。

(其同) 民主、公明、
憲法改正手続を確
定させる国民投票法改
正案について合意した。懸
念で、今国会中の成立を
目指す。

「勧誘運動」を当面容認
する修正案を与党が示
し、3点はそれぞれ党内の了
承手続を経て改正案を了
承して、今国会中の成立を
目指す。

2007年に成立した
自公民 今国会での成立目指す

國民投票法改正に合意

STAP論文に重大な過誤

〔共同〕STAP細胞の論文に不適切な画像データなど数々の疑義が寄せられている問題で、理化研究所の野依良治理事長らが14日、都内で記者会見し、論文を作成する過程に重大な過誤があったと発表した。理研の調査委員会は、故意の不正か間違いかを見極めるには、さらに調査が必要だと判断を先送りした。調査委員は中間報告を公表。論文の画像が小保方晴子研究ユニットリーダーの3年前の博士論文と酷似しているとの指摘に「同一データと判断せざるを得ない」とし、論文の画像が小保方晴子研究ユニットリーダーの3年生が「心からおわびする」と文書で謝罪。論文取り下げに向けた作業を進めるところ。

〔共同〕STAP細胞論文の疑義に対する調査の中間報告前、頭を下げる理研の野依良治理事長(右から2人目)ら=14日午後、東京都中央区

〔共同〕STAP細胞論文は1月末に英科学誌ネイチャードラマに掲載された。川合真紀理事(左)=1月26日、東京の理研にて

〔共同〕STAP細胞に関するS

〔共同〕STAP細胞論文はノーベル賞の対象となり下げには原則的に著者全員の同意が必要だ

職場への定着を支援するサービス

悩む新人を応援 「社外同期」も刺激に

〔共同〕中小企業で働く新入社員の悩みに答え、職場への定着を支援するサービスが始まっている。若者の早期離職率は従業員数の少ない企業ほど高い傾向にあり、こうした現状を改善する試みだ。異なる業界の新人が集まつて受ける研修もあり、「社外同期」が刺激を与え合っている。

△心の筋肉痛

「空気を読み過ぎて動けない」「いちいち理由を求める」「先輩に相談するものが下手だ」。今どきの新人の行動に悩む企業を支援しようとした「キヤリアサポート」

を、人材サービス会社「エン・ジャパン」(東京)が本年度から始めた。新人からは「年齢が離れた先輩に放つておかれできない」といった悩みが多かった。求められた仕事ができないといつた悩みがメールで送られ、同社が助言。育成担当者にも



中小企業で働く新入社員たちの集合研修。入社後に感じた思いを書き出して話し合う=東京都新宿区の「エン・ジャパン」

解説策を提案する。入社後3年間支援する契約で、中小企業30社と新規約150人が利用するサービスを担当する男性社員は「悩みの多くは乗り越えれば達成感が生まれる」と話す。

△ギャップ

厚生労働省によると、2009年春に大学を卒業した人の入社後3年以内の離職率は28・8%。千人以上の大企業で20・5%、30・9%の人で37・9%、5・2%の人で49・8%と、小さな企業ほど高かつた。手間と費用を掛けて採用した新人の定着は、さまざまな企業と共に通する課

題だ。

サポートを利用する印 刷会社「スリーライト」(東京・従業員数2人)で人事を担当する鈴木謙仁(すずき・あきひと)さんは、「若者が入社前から大量の企業情報を圧倒され、どう働きたいのかが分からなくなっている。仕事をしたいが、若者と企業の考え方とのギャップが徐々に大きくなっている」と話す。

（共同）うつ病患者を診断・治療できる身近な

「かかりつけ医」を増やそうと、精神科医らが開業医になり、内科の開業医に患者と医師役になつて、若者と企業の考え方を理解する事例もあるといふ。研修は県の委託事業と

下村さんが「はきはきしているな」と笑顔で話す。派遣会社「フュールズ」(東京)の荒畑拓海(あらはた・たくみ)さん(23)。

荒畑さんは「異業種の人たちと話すのは面白い

入社直後から派遣スタッフに交じって携帯電話や

インターネット回線の契約を取り、経験を積む。

（共同）うつ病患者を診断・治療できる身近な

「かかりつけ医」を増やす

うつ病の特徴。全国では座学

だけの研修が多く、参加

者の集中力が切れやすい

状況で、新人と育成担当者の

意思疎通を円滑にすれば

が可能だ。

（共同）うつ病患者を診断・治療できる身近な

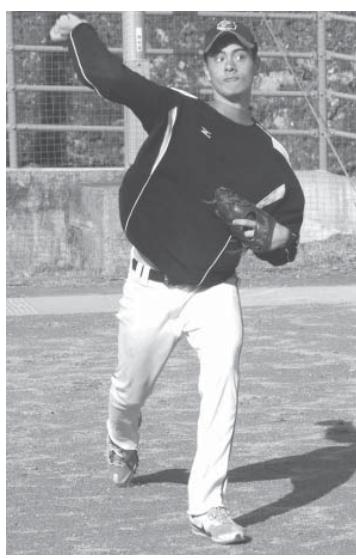
「かかりつけ医」を増やす

水野龍の孫が日本で野球選手

故郷高知の球団の練習生に

佐川町水野伯国協会が協力

父龍三郎「ぜひプロに」



きっかけは昨年8月、
ブラジル高知県人会創立60周年式典のこと。
出席したジョナタンさんが、
が慶祝式の同県議員らに、「日本で野球をする
機会があれば」と明かし

たことに対し、県政の
協力もあって、今回い
に練習生として入団する
に至った。言葉の壁もある中、選
手祭での生活となるが、
水野龍顕彰碑体の「佐川

町水野ブラジル協会」
が、支援としてバザーや
募金活動を行っており、
今月末には水野龍が東

京・銀座で創業した「力

関係者のみなさんのおかげ

です」と感謝し、「日本

では毎日野球詰めの生活

でもっと上手くなるだろ

う。ぜひプロになつて欲

しい」と話した。

ジョナタンさんが野球

を始めたのは12歳の

前半9時から午後5時ま

で、みつり鉢える毎日

い評判もあつたよう。

地元クリチーバでの

練習は週1回、そ

れも2時間だけ。個人練

習として「弟を相手に毎

い評判もあつたよう。

